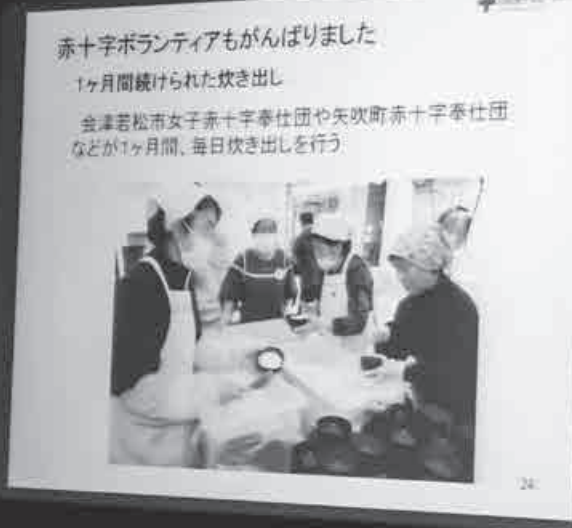




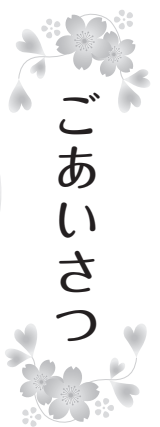
日赤埼玉県支部 奉仕団だより

創刊号

平成27年4月1日発行
発行者
日本赤十字社埼玉県支部
〒330-0064
埼玉県さいたま市浦和区
岸町3-17-1
電話 048-789-7117



赤十字奉仕団講演会
～東日本大震災「その後の福島」～
日時：平成26年9月19日(金)
13時～15時30分
会場：鴻巣市文化センター
来場者：657名



赤十字奉仕団埼玉県支部委員会
委員長 小林 陽子

埼玉県内の赤十字奉仕団の皆様には、日頃から奉仕活動にご尽力いただき、深く感謝いたします。今年度、奉仕団の広報誌「奉仕団だより」が創刊されると伺い、大変嬉しく思います。

今後ぜひ、この広報誌を活用して、各団のアピールやお知らせをしたり、他の奉仕団の活動状況を把握したり、また、互いの情報交換をしたりするなど、私たちの活動がより活発になることを期待いたしております。皆様大いに活用させていただきます。



日本赤十字社埼玉県支部
事務局長 真下 茂

赤十字奉仕団員の皆様には、日頃、奉仕団活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、「奉仕団だより創刊号」を発行することとなりました。この広報誌の目的は、すでに奉仕活動を実践されている団員の皆様にご高覧いただき、他団の良い活動事例を参考にさせていただくことはもとより、一般国民の皆様にも奉仕団について、より具体的に知っていただき、赤十字ボランティア活動の推進者として奉仕団活動に参加していただくことにあります。

ぜひ、この広報誌をご覧になった一人でも多くの方が奉仕団活動に関心を持ち、赤十字のボランティアの輪が広がっていくことを期待してあいさついたします。





奉仕団員のための防災訓練

鴻巣市赤十字奉仕団

鴻巣市赤十字奉仕団の自主防災訓練を実施しました。

平成26年10月25日(土)に、奉仕団主催の団員のための防災訓練を開催しました。私たち奉仕団は市主催や各自治体の防災訓練は参加協力をしていましたが、奉仕団独自の訓練はしていませんでした。今回実施の目的は今まで電話の連絡網はありますが、災害時に電話、ライフラインが使えなくなった時、歩いて、自転車が一番近い団員へ伝える緊急連絡網の作成と、炊き出し機材がある市役所倉庫まで、歩いて、自転車で2人以上声を掛け合って安全な道、危険にならないような道を相談しながら集合することでした。日頃、諸事情で活動に参加出来なかった団員も多数参加されました。集合時間は11時頃と決め、それぞれ見計らって自宅を出発し、早く着いた団員から倉庫の機材を出し、炊き出しの用意をし、それぞれ持ってきた一合のお米でハイゼックス炊飯をしました。ご飯が出来、一緒に



市役所災害倉庫前にて

来た人や同じ地区の人たちが輪になって、市役所までの様子を話し合いながらおかずとして持ってきたたく



手慣れた炊き出し訓練

さんの種類のふりかけや、缶詰をお互いに分け合いながら昼食をとりました。午後は団員同士で三角巾を使つての応急手当の訓練をし、15時に解散し無事に帰宅しました。

今後、一年に一回は改善しつつ、訓練が役に立たないことを願いながら、訓練を続けていきます。休日にもかかわらず事務局である市の担当職員も朝から終了まで参加していただき、もしもの時は迅速かつ適切な対応をしていただけると確信いたしました。

JRCメンバールンティア講座

皆野町赤十字奉仕団

私達皆野町赤十字奉仕団は、2月12日に地元皆野高校JRC部(青少年赤十字)と地域の方の参加を得て、災害ボランティア講座を開催しました。

災害時の炊き出し訓練の中でポリエチ



たくさんの団員が参加しました

レンのビニール袋を使用し、白飯、肉じゃが等種類の調理を行いました。

男子生徒は慣れない手つきでじゃがいもを切ったり食材を袋に入れ空気を抜き、口をしばる様子は、真剣そのものでした。出来あがった料理は味も良く好評でした。

参加した方の感想を聞いてみますと、ビニール袋での調理に驚きの声があり、たいへん興味を持った方が大部分でした。また、「地域の人とふれあい、災害に対する意識も高めることができ、受講してよかった」、「今後もボランティア活動に参加してみたい」という生徒の意見も聞くことができ、これからもJRC部との交流は続けたいと思います。

いつ発生するかわからない災害に備えて訓練の必要性を感じた有意義な一日を過ごすことができました。



皆野高校JRC部の生徒さんと炊き出し訓練



大韓赤十字社 京畿道支社訪問団との交流会

埼玉工業大学赤十字奉仕団



韓国の赤十字ボランティアが日赤の炊き出し訓練を視察

平成26年11月4日(火)、大韓赤十字社京畿道支社訪問団(ムンヒョンギル団長)10名の皆様をお招きし、日本赤十字社埼玉県支部・深谷市赤十字奉仕団・深谷市社会福祉協議会の皆様と埼玉工業大学赤十字奉仕団の学生・教職員で「日韓赤十字交流会」を開催しました。

当日、会議室において、本学に在籍している留学生キムテファン(工学部・機械工学科4年)の通訳でお互いに挨拶を交わし、記念品などの交換を行いその後、大乗殿(体育館)に場所を移し「赤十字救急法」ならびに「災害時健康生活支援講習」を体験していただきました。

昼食時には、講義室にて、神川町赤十字奉仕団員(古川操委員長)による「茶道体験」、また、深谷市赤十字奉仕団員(吉田光枝委員長)による非常食(アルファ米)の炊き出し、地元深谷ねぎを用いた煮ぼうとう作りを体験し、日本に伝わる文化・味を韓国訪問団の皆様楽しんでいただきました。

埼玉工業大学赤十字奉仕団と各協力団体の学生たちは、大韓赤十字社京畿道支社訪問団の皆様

様と一緒に各プログラムに取り組みました。初めは学生も緊張していた様子でしたが、身振り手振りでコミュニケーションを図るうちに打ち解けあい、最後にはお互い笑い合いながら共に過ごす時間を楽しんでいました。

参加学生は、言葉は通じなくても、赤十字活動を通して他国の人々と親睦を深め、喜びや達成感を覚えていたようでした。

※埼玉工業大学赤十字奉仕団(特殊奉仕団)は、理事長の松川聖業を委員長とし、学生・教職員で組織している奉仕団です。

災害支援活動・献血活動・学習支援・地域イベント協力など幅広い活動を行っております。



赤十字救急法(心肺蘇生)を体験

被災地でマジック披露

埼玉マジック赤十字奉仕団

私たちグループは、ボランティアの依頼に応じて先方を訪問してマジックを披露しているの

で、定期的な活動ではありませんが月に2〜5件程の訪問をしています。

また、演技の幅を広げるため、勉強会・研修会を合わせて月4回開催しています。訪問先は、



高齢者施設にてマジック披露

ま市内ですが、他の県や市にも行きます。

受ける依頼は、件数では年間で30件から50件弱、演技時間は、1時間前後です。マジック奉仕団員は18名在籍していますが、依頼時間により5〜8名が対応しています。お客様は老若男女合わせて2,000名から2,800名程度で楽しい一時を過ごして頂けたと思っております。

平成24・25年は、東日本大震災の被災地、福島県いわき市を鴻巣市赤十字奉仕団の要請により共に訪問し、仮設住宅の皆様マジックをお届けしました。

訪問先では埼玉マジック赤十字奉仕団の団旗を掲げその前で演じています。



仮設住宅の皆様マジックを楽しんでいただきました



赤十字の活動資金にご協力をお願いします

日本赤十字社の活動は、皆さまから寄せられる社費や寄付金によって支えられています。

●表彰制度があります

活動資金にご協力いただいた場合、表彰制度があります。

特別社員章	支部長感謝状	銀色有功章	金色有功章	日本赤十字社社長感謝状
一時または累計で2万円以上	一時または累計で10万円以上	一時または累計で20万円以上	一時または累計で50万円以上	金色有功章受章後、一時または累計で50万円以上



金色有功章
(法人:橋式)



銀色有功章
(個人・法人:橋式)



金色有功章
(個人:勲章式) [左:男性・右:女性]

●税制上の優遇措置が受けられます

日本赤十字社にご寄付いただいた活動資金は、個人の所得税や企業等の法人税の優遇措置が受けられます。

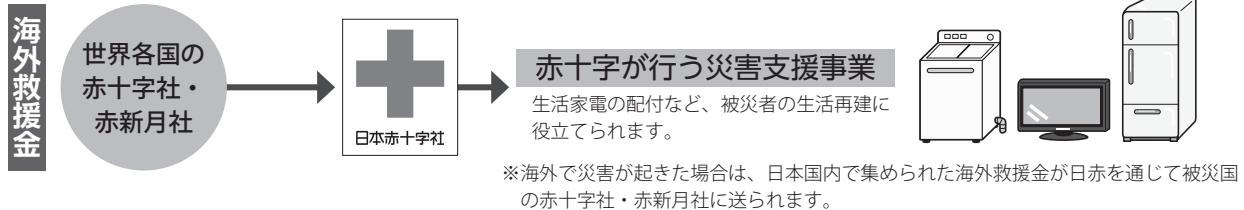
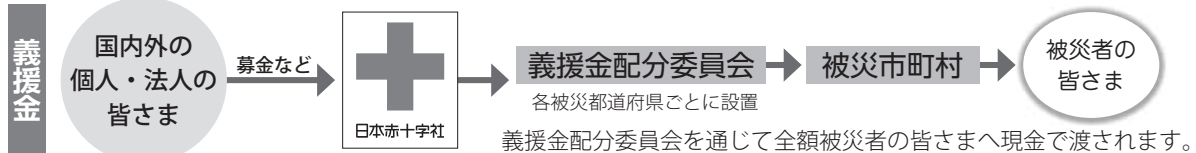
また、ご遺族が相続された財産を日本赤十字社埼玉県支部に寄付することによって、相続税の優遇措置が受けられます。

詳しい内容については、日赤埼玉県支部までお問合せください。
TEL 048-789-7117

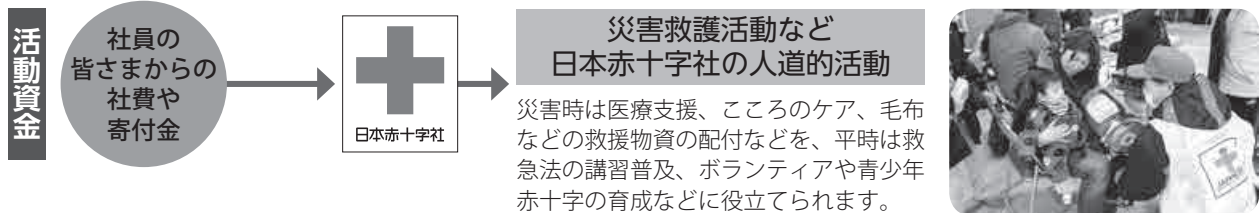
ご協力方法

- ・日赤埼玉県支部へ持参
- ・日赤埼玉県支部職員の来訪
- ・お近くの市区町村赤十字窓口への持参
- ・銀行振り込み
- ・郵便局からの振り込み
- ・口座振替
- ・遺贈 など

義援金や救援金の流れ



活動資金の流れ



《地域赤十字奉仕団》

市区町村の地域ごとに結成されています。

《青年赤十字奉仕団》

学生や社会人によって組織されています。

《特殊赤十字奉仕団》

専門的な知識・技術をもった人や特定の活動のために集まった人によって組織されています。

埼玉県内の団員数

(平成26年6月1日時点)

地域	7,342
青年	195
特殊	1,034
合計	8,571

赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

お問い合わせ

日本赤十字社埼玉県支部 奉仕・青少年課

電話：048-789-7117

FAX：048-834-1520

ホームページ <https://www.saitama.jrc.or.jp/>